

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団の組織力向上を目的とした実践的かつ効率的な点検(訓練)の実施事業

自治体名

広島県三原市

消防団名

三原市消防団

1 事業の目的・必要性

【目的】 小型動力ポンプの定期点検において実放水を行い、実践的な知識と技術を習得するとともに、組織力の向上及び活性化を図ることを目的とする。

【必要性】 小型動力ポンプの運用に係わる人材育成の必要性があり、また、コロナウイルス感染症拡大の影響により訓練自体が少なく団員同士のコミュニケーション及び組織の活性化が必要である。

2 事業内容

・小型動力ポンプの積み下ろしや消防職員の指導によるエンジンの始動方法等の基礎訓練及び実放水による小動力ポンプ運用訓練を実施した。

・ポンプ運用に係わる人材を育成するため消防職員による指導を行った。

参加消防団員数550名、消防職員10名

3 事業成果

1 月に一度の定期点検の代わりに、各分団に消防本部等が集まっていたき、実放水による定期点検を実施することで、小型動力ポンプ運用の知識と技術の向上、機器の保守管理の徹底が図ることができた。

2 実運用を主眼として消防職員が指導することにより、団員の実践的かつ高度な知識及び技術の向上が図られるとともに、災害時における消防職員との円滑な連携活動を構築することができた。

3 小型動力ポンプに不慣れな団員にも参加していただくことで、組織力の向上及び活性化が図れた。

4 消防団の指導的立場である教育指導専門員の指導力の向上のための訓練を実施し、将来的には、教育指導専門員が主導し訓練を実施することができる組織体制を構築することで組織の活性化を図ることができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
訓練	回数	2回	1回	車両等の納入が遅れたため、訓練が1回のみ
参加者	人数	300人	550人	

5 その他参考情報

訓練時に無線運用訓練を並行して実施し、実災害を想定した実践的な訓練を行った。

